



岡本 比呂志

学校法人中央情報学園
理事長
中央情報専門学校／早稲田文理専門学校
校長

「学校経営者」として、
はや35年

「少年老いや早く学成り難し、一寸の光陰軽んずべからず」とは蓋し名言だ。今も現役で日々の仕事に集中していると、気持ちだけはいつまでも若い。実際は今年「古希」を迎えた。

1987年に学園を創設して学校経営者となった。当時は35歳。一介の「高校教師」から「学校経営者」への転身である。

1970年大学の理系に入学した。専攻も理系を目指していたが、自らの人生や日本の未来を深く考えた結果、いつしか人間学や哲学に惹かれるようになり、教育学部を卒業した。その後ある高校で教職を得て教育の実践に携わり、教育のダイナミズム、子どもや人間の成長にかかわれる素晴らしさなど教育現場から多くを学んだ。一方、大学の修士課程、博士課程で社会哲学を専攻した経歴もあり、高校教師から大学教員になろうと考えていた。

当時お世話になっていた高校の創立者から、「あなたの先見性で自らの教育理念を実現する学校経営者になったらどうか」との強い薦めがあった。将来の大学設立も構想しながら、1987年、「情報系」今でいうIT系の専門学校を設立する運びとなった。以来35年の歳月が流れた。人生の半分に相当する。2011年には、2校目の専門学校を東京に設立できた。

今から5年前の2016年10月、目白の椿山荘で「中央情報学園創立30周年記念祝賀会」を開催した。教育界、経済界はもとより政界、行政など多くのご来賓に出席していただき、心温まる励ましのお言葉を頂戴し感動した。家族、教職員、関係者、知人、友人にも恵まれ幸せな人生を送っていることを実感している。これからの人生を健康で有意義なものに、社会貢献も含めて悔いのない人生にしたいと思う。



1986年5月、校舎建設工事「地鎮祭」



2016年10月、中央情報学園創立30周年記念祝賀会（椿山荘）